

## 産業廃棄物の減量・リサイクルセンターに係る第1回検討会 議事要旨

- 1 日時 平成19年7月23日（月曜） 午後2時～3時30分
- 2 場所 京都府福利厚生センター 第5会議室
- 3 議事 (1)産業廃棄物減量・リサイクルセンター（仮称）に係る検討について  
(2)産業廃棄物減量・リサイクルセンター構想について  
(3)減量・リサイクル支援に関する事業者ニーズについて  
(4)京都府の減量・リサイクル支援の現状について
- 4 出席者 同志社大学経済学部 教授 郡嶋孝氏  
龍谷大学理工学部 教授 占部武生氏  
社団法人京都工業会 業務推進役 谷口正克氏  
社団法人京都府産業廃棄物協会 常務理事 杉本明良氏  
株式会社京都環境保全公社 常務取締役 檀野恭介氏  
京都府中小企業技術センター 技術支援部長 堀井喜昭氏

### 5 主な意見等

#### ◆他国の支援制度全般について

○他国の例をみると、産業廃棄物の減量・リサイクルに関する効果的なアドバイスを、施設整備への投資がうまくいくと成功している。金銭的な支援策（融資など）も検討できないか。

○ドイツのノルトライン・ウエストファーレン州の例（効率化エージェンシー）では中小企業への支援としてエコ効率を上げる（生産過程における資源効率を最大化することにより生産コストを大幅に削減し、企業の競争力を高めるとともに環境負荷の軽減も測る）ことで成功している。

○イギリスではアドバイスにより計画が達成できたら成功報酬が得られるような仕組みがある。

#### ◆減量・リサイクルの情報提供について

○減量・リサイクルの情報提供については、グリーン購入制度と再生製品認定制度の活用などの例もある。

○産業廃棄物処理業者には、特殊な廃棄物の処理方法の情報を求められることがある。

○処理業者の優良性評価制度が始まって、その情報を公開することにより、

排出事業者によい処理業者を選んでもらえるようにできるのではないか。

○リサイクル情報はもちろんほしいが、それより、処理業者の信用情報も重要。本当に必要な情報は処理業者がきちんと処理をしているのかということである。

○ホームページでの情報発信は非常に有効であると思うが、PR不足である。ホームページに情報がのっていることを知らないことが多い。

◆アドバイザーの質の向上について

○アドバイザーを利用して、その後本格的に相談をする場合には、専門企業を紹介してお金を払ってやってもらってはどうか。高い質を確保していく必要があり、成功報酬を与えるのもいいのではないか。

○相談する相手については、その相手が信用できるかどうかということが問題となる。

## 6 今後の検討予定

○8月中に他府県事例の研究を進め、各検討委員と個別の相談。

○第2回検討会の開催

8月31日（金曜）午後2時～4時

議題：減量・リサイクルセンターに関する課題のまとめ

減量・リサイクルセンターの具体化